

## 日本における中国考古学関係文献目録（2004年）

菊地 大樹

### 【図録/シンポジウム】

共同通信社、ナリタ・エディトリアル・オフィス『よみがえる四川文明—三星堆と金沙遺跡の秘宝展』共同通信社  
東京国立博物館、朝日新聞社『中国国宝展』朝日新聞社  
アサツーディ・ケイ、便利堂『よみがえる中国歴代王朝展—至宝が語る歴史ロマン 殷から宋まで—』アサツーディ・ケイ  
産経新聞社、上野の森美術館『大兵馬俑展—今、甦る始皇帝の兵士たち—』産経新聞社  
大阪美術倶楽部『中国 王朝の粹』大阪美術倶楽部  
泉屋博古館『金銅仏—東アジア仏教美術の精華—』泉屋博古館

國學院大學 21COE 考古学国際シンポジウム実行委員会『21COE 考古学シリーズ 3 國學院大學 21 世紀 COE プログラム国際シンポジウム 動物と儀礼—東アジアの中の日本— 予稿集』國學院大學 21COE 考古学国際シンポジウム実行委員会  
藤善真澄編『東と西の文化交流 関西大学東西学術研究所創立 50 周年国際シンポジウム' 01 報告書』関西大学出版部

### 【単行本】

愛新覚羅烏拉熙春 著『契丹言語文字研究（紀年金啓琮先生学術叢書之一）』東亜歴史文化研究会  
愛新覚羅烏拉熙春 著『女真言語文字新研究』明善堂  
愛新覚羅烏拉熙春 著『遼金史與契丹女真文（紀年金啓琮先生学術叢書之二）』東亜歴史文化研究会  
石田憲司・鈴木正弘『概観中国の政治と文化』世音社  
イブン・バットゥータ（前嶋信次訳）『三大陸周遊記抄』中央公論社  
稲盛和夫監修・梅原猛・安田善憲共著『長江文明の探求 森と文明の旅』新思索社  
上田雄『渤海国 東アジア古代王国の使者たち（講談社学術文庫 1653）』講談社  
臼杵勲『鉄器時代の東北アジア』同成社  
NHK「文明の道」プロジェクト『モンゴル帝国 NHK スペシャル文明の道⑤』NHK 出版  
塩卓悟・河村晃太郎編『譯注太平廣記 婦人部』汲古書院  
大村次郎『遺跡が語るアジア（中公新書 1745）』中央公論社  
大塚初重編『東アジアの装飾古墳を語る 季刊考古学・別冊 13』雄山閣  
汪涌豪（鈴木博訳）『中国遊俠史』青土社  
小川尚『明代都察院体制の研究』汲古書院  
岡田英弘『中国文明の歴史（講談社現代新書）』講談社  
岡田英弘『蒙古源流』刀水書房  
岡田武彦『王陽明と明末の儒学（上・下）（岡田武彦全集 10・11）』明德出版社  
加地伸行『論語（講談社学術文庫 1640）』講談社  
金関恕監修・中井精一・内山純蔵・高橋浩二編『日本海/東アジアの地中海 日本海総合プロジェクト研究報告 1』桂書房  
川勝守『中国城郭都市社会史研究』汲古書院  
川越泰博『明史』明德出版社  
川本芳昭『中国史のなかの諸民族（世界史リブレット 61）』山川出版社  
氣賀澤保規 編『新版 唐代墓誌所在総合目録（明治大学東洋史史料叢刊 3）』汲古書院  
桐本東太『中国古代の民俗と文化』刀水書院  
小島毅『朱子学と陽明学』放送大学教育振興会  
小島毅『東アジアの儒教と礼（世界史リブレット 68）』山川出版社  
佐藤武敏『長安（講談社学術文庫 1663）』講談社  
斎木哲郎『秦漢儒教の研究』汲古書院  
斎木哲郎『秦漢儒教の研究』汲古書院  
阪倉篤秀『長城の中国史 中華 vs. 遊牧 六千キロの攻防（講談社選書メチエ 289）』講談社  
周藤吉之・中嶋敏『五代と宋の興亡（講談社学術文庫）』講談社  
白川静『白川静著作集 別巻 2-1 上 金文通釈』平凡社  
人民教育出版社歴史室編著（小島晋司ほか訳）『中国の歴史 中国高等学校歴史教科書』明石書店  
菅沼晃『モンゴル仏教紀行』春秋社  
杉山正明『モンゴル帝国と大元ウルス（東洋史研究叢刊 65）』京都大学学術出版会  
蘇秉琦『新探中国文明の起源』言叢社  
平隆朗『龜の碑と正統（白帝社アジア史選書 004）』白帝社  
高橋澄子他『アジアの伝統医学（伝統医学シリーズ）』出帆新社  
滝本弘之編著『中国歴史人物大図典 歴史文学編』游子館  
張允植編『古代シルクロードと朝鮮』雄山閣  
張礼・趙岫撰（愛宕元訳注）『遊城南記／訪古遊記』京都大学学術出版会

津金幹彦『シルクロードの民族と文化』文芸社  
 鶴間和幸『中国の歴史(03) フェーストエンペラーの遺産 秦漢帝国』講談社  
 トマス・ソーウェル(内藤嘉昭訳)『征服と文化の世界史 民族と文化変容』明石書店  
 富谷至『木簡・竹簡の語る中国古代 書記の文化史』岩波書店  
 内藤湖南著・礪波護他編集『東洋文化史(中公クラシックス J22)』中央公論社  
 長沢和俊『三蔵法師の歩いた道 巡歴の地図をたどる旅』青春出版社  
 布目潮風『布目潮風中国史論集(下巻)』汲古書院  
 野村伸一『東アジアの女性信仰と女性生活(慶應義塾大学東アジア研究所叢書)』慶應義塾大学出版会  
 林巳奈夫『神と獣の紋様学 中国古代の神がみ』吉川弘文館  
 范曄撰(渡邊義浩 他編)『全訳後漢書 第2冊 本紀』汲古書院  
 范曄撰(渡邊義浩・小林春樹編)『全訳後漢書 第3冊 志』汲古書院  
 范曄撰(渡邊義浩・堀内淳一編)『列伝1(全訳後漢書11)』汲古書院  
 東山健吾『シルクロードの足跡』日本放送出版協会  
 藤善真澄『隋唐時代の仏教と社会』白帝社  
 堀敏一『漢の劉邦 ものがたり漢帝国成立史』研文出版  
 三杉隆敏『「元の染付」海を渡る 世界に広がる焼物文化(図説中国文化百華018)』農山漁村文化協会  
 宮澤正順博士古希記念論文集刊行会編『宮澤正順博士古希記念 東洋 比較文化論集』青史出版  
 毛利光俊彦『奈良文化財研究所史料第68冊 古代東アジアの金属製容器I(中国篇)』独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所  
 森安孝夫責任編集『中央アジア出土文物論叢』朋友書店  
 柳田聖山『唐代の禪宗』大東出版社  
 藪内清『中国古代の科学(講談社学術文庫1654)』講談社  
 山形欽也『歴史の海を走る 中国造船技術の航跡』農山漁村文化協会  
 山腰敏寛編『中国歴史公文書読解辞典』汲古書院  
 楊海英『チンギス・ハーン祭祀 試みとしての歴史人類学的再構成』風響社  
 吉川忠夫訓注『後漢書(第7冊)〈列伝5〉』岩波書店  
 吉川忠夫訓注『後漢書(第8冊)〈列伝6〉』岩波書店  
 林玉茹・李毓中(森田明訳)『台湾史研究入門』汲古書院  
 歴史教育者協議会編『東アジア世界と日本 日本・朝鮮・中国関係史』青木書店  
 渡邊義浩『三國政権の構造と「名士」』汲古書院  
 渡邊義浩・田中靖彦『世界歴史の旅 三国志の舞台』山川出版社  
 萩勇造『歴史意識の芽生えと歴史記述の始まり(世界史リブレット57)』山川出版社

## 【論文】

愛新覚羅烏拉熙春「遼代漢語無入聲考」『言語文化研究』16-1, pp. 121-142  
 愛新覚羅烏拉熙春「契丹小字的表音文字」『言語文化研究』16-2, pp. 91-116  
 愛新覚羅烏拉熙春「契丹横帳考一兼論帳、宮院之關係」『立命館大学』584, pp. 27-39  
 愛新覚羅烏拉熙春「匣馬葛考」『立命館文学』582, pp. 57-66  
 愛新覚羅烏拉熙春「契丹小字的親屬稱謂及相關名詞」『立命館文学』585, pp. 1-13  
 愛新覚羅烏拉熙春「契丹蒙古札記」『立命館文学』586, pp. 1-24  
 相田満『東観漢記』再考 佚書を指標とする成立時期判定の可能性について『東洋文化(無窮会)』復刊92, pp. 18-26  
 相原健右・澁谷由紀・岡本秀夫『白虎通』譯注・卷一 爵篇(3)『中国古典研究』49, pp. 72-85  
 青木隆「李贄の格物説と読書論」『研究紀要(日本大学文理学部人文科学研究部)』68, pp. 47-62  
 赤坂恒明「金帳汗国」史の解体 ジュチ裔諸政権史の再構成のために『内陸アジア史研究』19, pp. 23-42  
 赤羽目匡由「8世紀中葉における新羅と渤海との通交關係」『三國史記』所引、賈耽『古今郡国県道夷述』逸文の分析『古代文化』56-5, pp. 30-43  
 赤羽目匡由「都管七大国大辨銀盒銘文の一考察 唐後期の渤海認識にふれて」『人文学報(都立大)』346, pp. 127-155  
 赤羽目匡由「八世紀中葉における新羅と渤海との通交關係一」『三國史記』所引、賈耽『古今郡国県道四夷述』逸文の分析『古代文化』56-5, pp. 30-43  
 秋山進午「俞偉超先生の思い出」『博古研究』27, pp. 25-26  
 秋山陽一郎「劉向本戦国策が内包する先行説話群について」『立命館史学』25, pp. 29-85  
 秋山陽一郎「孫徳謙 劉向校讐學纂微訳注(二)」『立命館東洋史学』27, pp. 93-108  
 阿部兼也「漢書藝文志の「小説家」と漢代の「選舉」「太学」の創設」『中国古典小説研究』9, pp. 1-10  
 阿部幸信「皇帝六璽の成立」『中国出土資料研究』8, pp. 63-87  
 阿部幸信「嘉禾吏民田家荊「丘」再攷」『東洋史研究』62-4, pp. 32-59  
 阿部幸信「後漢時代の赤綬について」『福岡教育大学紀要』53-2, pp. 1-19  
 阿部幸信「漢帝国の内臣 外臣構造形成過程に関する一考察」『歴史研究』784, pp. 20-36  
 荒井信一「古今一体の道一俞偉超先生を偲ぶ」『博古研究』27, pp. 23-24  
 荒川正晴「唐代前半の胡漢商人と帛練の流通」『唐代史研究』7, pp. 17-59

- 荒見泰史「敦煌文献に見られる『目連変文』の新資料—北京 8719 号文書について—」『東方宗教』103, pp. 61-77
- 飯島和俊「富谷至著『木簡・竹簡の語る中国古代 書記の文化史』」『日本秦漢史学会会報』5, pp. 206 - 209
- 井黒忍「山西洪洞県水利碑考 金天眷二年「都總管鎮國定兩縣水碑」の事例」『史林』87-1, pp. 70-103
- 井黒忍「モンゴル時代関中における地域間関係の考古学的検討 涇渠の整備を中心として」『内陸アジア史研究』19, pp. 1-22
- 井黒忍「満訳正史の基礎的検討『満文金史 (aisin guruni suduri biithe)』の事例をもとに」『満族史研究』3, pp. 112-130
- 池田温「書道博物館所蔵高昌延和八年写放光般若経残卷」『シルクロード研究』4, pp. 31-38
- 池田知久「上海楚簡『孔子詩論』に現れた「豊(禮)」の問題—関雎篇評論における人間の欲望を規制するものとしての「豊(禮)」—」『東方学』108, pp. 1-21
- 池田夏樹「戦国秦漢期における贖刑の方法と制度と運用」『アジア史学(中央大)』28, pp. 1-25
- 池田光子・黒田秀教「新出土資料関係文献提要(四)」『中国研究集刊』35, pp. 49-55
- 石井公成「中国禪の形成」『思想』960, pp. 8-31
- 石岡浩「戦国秦の「徭」と軍政 睡虎地秦簡 秦律十八種「徭律」訳注」『会報(法史学研究会)』9, pp. 77-88
- 石岡浩「張家山漢簡奏讞書にみる二十等爵制度 特権の賜与と剥奪」『研究紀要(早大本庄高等学院)』22, pp. 1-15
- 石岡浩「水間大輔著『秦律・漢律における共犯の処罰原理』」『法制史研究』53, pp. 255-258
- 井実充史「渤海関連詩を読む(9) 滋野貞主「春日奉使入渤海客館」」『アジア遊学』64, pp. 174-179
- 板倉聖哲「皇帝の眼差し 徽宗「瑞鶴図絵」をめぐって」『アジア遊学』64, pp. 128-144
- 市来津由彦「徽宗時代の儒教を考える」『アジア遊学』64, pp. 99-109
- 市来弘志「代来城の位置と現況について」『東洋文化研究(学習院大)』5, pp. 141-158
- 伊藤淳史「岡村秀典著『夏王朝—王権誕生の考古学—』」『史林』87-3, pp. 126-127
- 伊藤清司「古賀登著『四川と長江文明』」『東方』276, pp. 26-29
- 伊藤正彦「『教民榜文』訳注稿(上)」『文学部論叢(熊本大)』82, pp. 117-146
- 稲葉一郎「章学誠の歴史観」『人文論究(関西学院大)』54-2, pp. 1-20
- 井上和人「唐代長安の諸門について『唐律疏議』における「門」字の分析」『会報(法史学研究会)』9, pp. 27-44
- 井上徹「霍韜による宗法システムの構築 商業化・都市化・儒教化の潮流と宗族」『都市文化研究』3, pp. 34-51
- 井上亘「『禮記』の文献学的考察—「冊書」としての『禮記』—」『東方学』108, pp. 1-21
- 伊原弘「徽宗とその時代 その再検討のために」『アジア遊学』64, pp. 6-12
- 今井晃樹「解明されはじめた中国初期王朝の実態『夏王朝』」『東方』282, pp. 18-21
- 今村佳子「中国新石器時代における占トの起源と展開についての一考察」『21COE 考古学シリーズ 2 國學院大學 21 世紀 COE プログラム 2002・2003 年度考古学調査研究報告 東アジアにおける新石器文化と日本 I』國學院大學 21COE 第 I グループ考古学班, pp. 253 - 262
- 岩本篤志「羽田記念館所蔵「西域出土文献写真」766・767『十六国春秋』考—李盛鐸舊藏敦煌文献をめぐって—」『西北出土文献研究』創刊号, pp. 5-39
- 岩本憲司「春秋経伝集解譯稿續篇(七) 襄公二十五年」『中国研究集刊』35, pp. 56-83
- ヴァレンティナ I. ラスポボヴァ「MIHO MUSEUM 棺床浮彫における生活と美術の様式」『MIHO MUSEUM 研究紀要』4, pp. 58-68
- 上野洋子「『夢古逸旨』外篇について」『待兼山論叢(哲学篇)』38, pp. 65-77
- 上原尉暢「『塩鉄論』試論」『集刊東洋学』92, pp. 21-39
- 上原利恵・佐野和美・竹内康介・徳留大輔・松本圭太・村野正景・濱名弘二「日本における中国考古学関係文献目録(2003 年)」『中国考古学』4, pp. 241-250
- 植松正「元典章文書分析法」『13・14 世紀東アジア史料通信』2, pp. 1-11
- 植松勇介「花形鏡の成立について」『古代文化』56, pp. 40-49
- 宇田津徹朗「中国新石器時代における水田稲作とその広がりについて」『九州大学 21 世紀 COE プログラム(人文科学) 東アジアと日本: 交流と変容』創刊号, pp. 1-10
- 内田昌功「魏晋南北朝の宮における東西軸構造」『史朋(北海道大)』37, pp. 1-19
- 内田昌功「隋煬帝期官制改革の目的と性格」『東洋学報』85-4, pp. 33-64
- 内山直樹「『史記』『漢書』の「書」「志」について—名称をめぐる瑣考—」『中国文化』62, pp. 1-12
- 宇野隆夫「西洋と東洋における海運技術の画期」『文化の多様性と比較考古学』考古学研究会, pp. 75 - 84
- 馬彪「秦漢時代の「素封」についての考察(上)」『東洋史苑』63, pp. 26-48
- 海野洋平「唐順之と書傭・胡貿 明代嘉靖年間の書籍編纂事業に於ける傭書の役割」『汲古』45, pp. 55-67
- 益満義裕「イヌから見た中国古代の社会と文化」『東洋文化研究(学習院大)』6, pp. 153-181
- 榎並岳史「岳飛による長江中流域支配に関する一考察」『新潟史学』52, pp. 1-25
- エノ・ギョーレ「「郵」制攷 秦漢時代を中心に」『東洋史研究』63-2, pp. 1-37
- 榎本淳一「日渤関係史研究の成果と意義 酒寄雅志著『渤海と古代の日本』、石井正敏著『日本渤海関係史の研究』」『史学雑誌』113-7, pp. 99-108
- 榎本涉「北宋後期の日宋間交渉」『アジア遊学』64, pp. 145-154
- 海老澤哲雄「グユクの教皇あてラテン語訳返書について」『帝京史学』19, pp. 59-84
- 袁一堂(安藤幹夫訳)「宋代河北路便糶地域考略」『経済研究論集(広島経大)』27-3, pp. 107-117
- 袁靖(三宅俊彦訳)「中国古代農耕社会における家畜化の発展過程について」『国立歴史民俗博物館研究報告』119, pp. 79-85
- 袁靖(孫曉麗訳)「俞偉超先生を偲ぶ」『博古研究』27, pp. 32-33

- 王衛明「古代中国仏教寺院における堂内造像の配置 近年寺院址出土の新資料を手がかりとして」『研究紀要（京都橘女大）』30, pp. 67-132
- 王京鈺「五山文学における酔杜甫像 題酔杜甫図詩をめぐって」『中国学会報』42, pp. 120-136
- 王建新（井之口茂訳）「私の記憶の中の俞偉超先生」『博古研究』27, pp. 29-30
- 王瑞来「徽宗と蔡京 権力の絡み合い」『アジア遊学』64, pp. 34-44
- 王瑞来「『鶴林玉露』著者羅大経に関する再考」『東洋文化研究（学習院大）』6, pp. 137-152
- 王巍「中国古代国家形成論」『文化の多様性と21世紀の考古学』考古学研究会, pp. 81-99
- 王巍（上野祥史訳）「中国考古学と科学的年代測定」『季刊考古学』88, pp. 75-77
- 王凱「董源と其の時代の絵画をめぐって」『研究紀要（武蔵野美大）』35, pp. 115-124
- 大沢幸一郎「山東半島宗族村落における「拝年」の贈与交換 交換様式の現代的意義」『現代中国』78, pp. 121-138
- 太田幸男「出土法律文書にみえる「盗」について」『日本秦漢史学会会報』5, pp. 66-83
- 大西磨希子「初唐期の西方浄土変と『観無量寿経』敦煌莫高窟の作例をてがかりに」『仏教芸術』273, pp. 9-32
- 大貫静夫「研究史からみた諸問題—遼東の遼寧式銅剣を中心に—」『季刊考古学』88, pp. 84-88
- 岡内三眞「新疆奇台县石城子遺跡の考古学的考察」『早稲田大学大学院文学研究科紀要』49-4, pp. 87-101
- 小笠原好彦「東アジアからみた古墳時代の首長居館」『文化の多様性と比較考古学』考古学研究会, pp. 179-188
- 岡田哲明「北宋奢侈禁令考 金銀装飾品に対する諸規制とその変遷」『史泉』100, pp. 29-48
- 岡田登「南宋の軍事火器」『東洋文化（無窮会）』復刊92, pp. 51-60
- 岡野誠・森田悌「池田温編『日中律令制の諸相』」『法制史研究』53, pp. 181-189
- 岡部美智子「『太史公自序』における壺遂問答の再検討」『東洋大学大学院紀要』40, pp. 171-192
- 岡村秀典「俞老師に学んだこと」『博古研究』27, pp. 35-36
- 岡村秀典「都市形成の日中比較研究」『文化の多様性と比較考古学』考古学研究会, pp. 189-196
- 岡村秀典「中国初期国家の形成過程」『国立歴史民俗博物館研究報告』119, pp. 349-363
- 岡村秀典「国家の形成」『考古学研究』51, pp. 8-10
- 小川貴宏「古代中国における統制経済—前漢期の貨幣・物価・専売の様相—」『西南学院大学大学院文学研究論集』23, pp. 167-184
- 荻野友範「『墨子』引詩考」『中国文学研究（早大）』30, pp. 1-18
- 荻野友範「紂王の形象—『史記』殷本紀の再検討から—」『早稲田大学大学院文学研究科紀要』49, pp. 77-90
- 荻野祐「山内晋次著『奈良平安期の日本とアジア』」『歴史科学』178, pp. 50-58
- 奥田尚「古代東アジアの歴史叙述に関する序説 『史記』を手がかりとして」『アジア文化学年報（追手門学院大）』7, pp. 9-28
- 尾崎康「宋代における刊刻の展開」『帝京史学』19, pp. 85-126
- 尾崎勤「『怪奇鳥獸図巻』と中国日用類書」『汲古』45, pp. 68-75
- 尾崎保子「左伝における婦女観（10）—「妾」について」『學苑（昭和女子大）』762, pp. 62-73
- 尾崎保子「左伝における婦女観（11）—喪葬の記録 母は子を以て貴し①—」『學苑（昭和女子大）』768, pp. 45-54
- 小澤正人「外国考古学研究の動向 2 中国」『日本考古学年報』55, pp. 83-90
- 小田木治太郎「中国大陸と東アジア地中海」『日本海/東アジアの地中海』柏書房, pp. 76-99
- 落合淳思「古代中国における氏族の形成過程」『立命館史学』25, pp. 1-28
- 落合淳思「殷・西周金文の起草」『立命館東洋史学』27, pp. 79-91
- 尾上葉子「糖餅行のギルドホール馬神廟と祭神」『奈良史学』22, pp. 19-36
- 小畑弘己「シベリア・極東地域の初期土器研究について」『月刊考古学ジャーナル』519, pp. 15-20
- 柿沼陽平「殷代宝貝の社会的機能について 中国貨幣史の資源を探るための基礎的研究」『歴史民俗（早大）』2, pp. 18-32
- 影山悦子「中国北部に居住したソグド人の石製葬具浮彫」『西南アジア研究』61, pp. 67-79
- 片山共夫「元朝探馬赤の名称について（前篇）」『東洋史論集（九大）』32, pp. 194-221
- 加藤聰・小林春代・高橋文治・谷口高志・富永鉄平・西尾俊・藤原祐子「成化本『白兔記』譯註稿（二）」『中国研究集刊』35, pp. 84-138
- 加藤里美「食品加工具にみる精神文化の変容」『国学院大学紀要』42, pp. 1-21
- 加藤晋平「アウラガ遺跡における焼飯儀礼について」『博望』5, pp. 1-13
- 金井塚良一「蛇行状鉄器再考 馬冑との共伴問題と関連して」『考古学研究』51-1, pp. 55-75
- 金沢陽「明代景德鎮民窯磁器の全国市場—明代後期徽商の活動といくつかの陶磁需要について—」『出光美術館研究紀要』10, pp. 33-42
- 金谷治「楚簡「性自命出」篇の考察」『日本学士院紀要』59-1, pp. 21-38
- 鐘方正樹「日中における王陵の墳形変化とその関連性」『博望』5, pp. 15-37
- 金子修一「皇帝祭祀より見た漢代史」『漢学会誌（大東文化大）』43, pp. 427-448
- 上谷浩一「後漢政治史における鴻都門学」『東洋史研究』63-2, pp. 38-57
- 亀田修一「扶余『大唐』銘軒丸瓦の語るもの」『古代文化』56-11, pp. 2-12
- 川合安「窪添慶文著『魏晋南北朝官僚制研究』」『東方』280, pp. 28-31
- 川合安「南朝貴族の家格」『六朝学術学会報』5, pp. 75-85
- 川越泰博「鄱陽湖の戦いへの道」『人文研紀要（中央大）』51, pp. 1-22
- 川崎建三「タウカ遺跡—ラフモノフ著『タウカ』による紹介」『シルクロード研究』4, pp. 63-74

- 河内春人「唐から見たエミシ 中国史料の分析を通して」『史学雑誌』113-1, pp. 43-61
- 河内春人『『新唐書』日本伝の成立』『東洋学報』86-2, pp. 35-65
- 川村康「滋賀秀三著『中国法制史論集 法典と刑罰』」『東洋史研究』63-1, pp. 102-110
- 川本芳昭「中国を中心として見た漢唐間における「交流と変容」について」『九州大学 21 世紀 COE プログラム (人文科学) 東アジアと日本: 交流と変容』創刊号, pp. 75 - 86
- 韓国河「河南中小型漢墓出土鉄器術論」『考古論集 (河瀬正利先生退官記念論文集)』 河瀬正利先生退官記念事業会編, pp. 1019-1028
- 黄曉芬「中国の木槨墓の形成過程」『考古学ジャーナル』517, pp. 5-9
- 黄美娥「台湾古典文学史序説 (1651-1945)」『野草』74, pp. 58-94
- 黄川田修「再論岳石文化分期—桓台史家遺跡祭祀坑出土の刻字獣骨の背景—」『中国考古学』4, pp. 141-188
- 黄川田修「齊国始封地考—中国山東省蘇埠屯遺跡の性格—」『東洋学報』86-1, pp. 1-36
- 菊地大樹「二里头文化における煮炊き具の変革」『中国考古学』4, pp. 29-48
- 義江彰夫「五井直弘『中国古代の城郭都市と地域支配』」『歴史学研究』790, pp. 54-57
- 木崎悠「兪偉超先生を偲ぶ」『博古研究』27, pp. 37-38
- 北村一仁「南北朝期国境地域社会の形成過程及びその実態」『東洋史苑』63, pp. 76-119
- 衣川賢次「唐玄宗『御注金剛般若経』的復元與研究」『花園大学文学部研究紀要』36, pp. 1-75
- 木村秀海「甲骨文・金文の小臣について」『人文論究 (関西学院大学人文学会)』53-4, pp. 17-31
- 龔詩文「戦国時代の青銅器に表された山岳狩猟図—自然風景と祭祀活動の図像表現に注目して—」『待兼山論叢 (美学篇)』37, pp. 1-24
- 許宏 (久慈大介訳)「二里头遺跡における考古学的新収獲とその初歩的研究—集落形態を中心として—」『中国考古学』4, pp. 189-203
- 金文京「元曲の女性像」『中国』21, pp. 69-86
- 叢小榕「儒学における周禮の位置づけ」『いわき明星大学人文科学研究紀要』17, pp. 175-182
- 栗建安「福州地区における「薄胎醬釉器」の発見と研究」『研究紀要 (野村美術館)』13, pp. 1-11
- 草野靖「漢代における帝政の発展と選挙制度」『九州大学東洋史論集』32, pp. 1-39
- 巖基珠「長安を訪れた新羅の人々 金仁問、金可紀、崔致遠の場合」『アジア遊学』60, pp. 69-82
- 巖善昭「馬王堆漢墓の房中養生の竹簡に着いての研究—古代の房中導引を中心に—」『中国出土資料研究』8, pp. 39-62
- 黄蘭翔「中国古建築の鴟尾の起源と変遷」『仏教芸術』272, pp. 68-100
- 甲元眞之「中国東北地方の先史時代社会」『文化の多様性と比較考古学』考古学研究会, pp. 289-296
- 甲元眞之「砂丘の形成と考古学資料」『文学部論叢 (歴史学篇)』86, pp. 55-71
- 甲元眞之「東アジアにおける農耕の起源と拡散」『国立歴史民俗博物館研究報告』119, pp. 11-30
- 江優子「後漢時代の鎮墓瓶における発信者について」『佛教大学大学院紀要』32, pp. 71-82
- 小尾孝夫「劉宋孝武帝の対州鎮政策と中央軍改革」『集刊東洋学』91, pp. 40-60
- 小嶋茂稔「前漢における郡の変容と刺史の行政官化についての覚書」『歴史・地理・人類学論集 (山形大)』5, pp. 84-114
- 小島毅「三浦秀一著『中国心学の稜線 元朝の知識人と儒道仏三教』」『集刊東洋学』92, pp. 134-142
- 後藤健「新疆ウイグル自治区哈密地域における先史時代遺跡の考察」『史観』150, pp. 95-112
- 後藤雅彦「南中国の土器出現期」『考古学ジャーナル』519, pp. 21-24
- 後藤雅彦「東南中国沿海地域における唐宋代の考古遺跡」『人間科学 (琉球大学法文学部)』14, pp. 183-204
- 後藤雅彦「澎湖群島における先史文化研究」『人間科学 (琉球大学法文学部)』13, pp. 407-434
- 小林伸二「春秋時代の攻囲戦について」『大正大学研究紀要 (人間学部・文学部)』89, pp. 1-34
- 小林隆道「北宋期における路の行政化 元豊帳法成立を中心に」『東洋学報』86-1, pp. 65-96
- 小林隆道「宋代運便の研究 元豊帳法出現による宋代統治機構モデルの確立」『早稲田大学大学院文学研究科紀要』49-4, pp. 113-115
- 小林善文「生態環境史より見た黄河史—中国における研究動向をめぐって—」『神女大史学』20, pp. 1-18
- 小山満「パーミヤン石窟とチュルク=突厥の関係」『シルクロード研究』4, pp. 1-29
- 近藤喬一「漢代諸侯王・列侯の墓制と鏡」『郵政考古紀要』35, pp. 66-94
- 齋藤忠和「兵制からみた徽宗時代の地域社会」『アジア遊学』64, pp. 78-88
- 齋藤智寛「『宝林伝』の宗教世界「無修」と「因果」」『集刊東洋学』92, pp. 78-97
- 齋藤勝「9・10 世紀敦煌牧羊代行業について」『歴史学研究』796, pp. 1-15
- 榮新江「シルクロードにおけるソグド人居住地の日常生活」『MIHO MUSEUM 研究紀要』4, pp. 11-31
- 榮新江「丝绸之路上粟特聚落的日常生活」『MIHO MUSEUM 研究紀要』4, pp. 1-10
- 榮新江 (西林孝浩訳)「ソグド祇教美術の東伝過程における転化 ソグドから中国へ」『美術研究』384, pp. 1-17
- 坂出祥伸「思想の擔いてとしての「士」身分—特に先秦時代における—」『関西大学中国文学会紀要』25, pp. 1-16
- 坂上康俊「九州大学文学部所蔵「敦煌文書」の来歴」『史淵』141, pp. 1-24
- 坂本頼之「『鹽鐵論』中の特に属官の発言について」『東洋大学大学院紀要』40, pp. 181-192
- 佐川英治「窪添慶文著『魏晋南北朝官僚制研究』」『唐代史研究』7, pp. 226-234
- 佐川繭子「『史記』に見える循環史観」『二松学舎大学論集』47, pp. 225-246
- 佐々木正治「四川都江堰踏査記—その創建と初期作用—」『考古論集 (河瀬正利先生退官記念論文集)』 河瀬正利先生退官記念事業会編, pp. 1043-1058

- 佐藤和彦「唐代の太子三師 受位者より見たる一傾向」『東洋史論集（立正大）』16, pp. 29-47
- 佐藤賢「北魏内某官制度の考察」『東洋学報』86-1, pp. 37-64
- 佐藤賢「崔浩誅殺の背景」『歴史』103, pp. 55-80
- 佐藤貴保「12世紀後半における西夏と南宋の通交」『待兼山論叢（史学篇）』38, pp. 1-23
- 佐藤智水「華北石刻史料の調査 南北朝時代の造像史料から」『唐代史研究』7, pp. 177-203
- 佐藤成順「南宋の宰相史浩の補陀洛山観音信仰について」『鴨台史学』4, pp. 1-26
- 佐藤信弥「饗礼関係字説」『人文論究（関西学院大）』53-4, pp. 67-80
- 佐野和美「墓葬からみた馬窯文化から齊家文化への社会の変遷」『古文化談叢』50下, pp. 197-225
- 佐野和美「中国における初現期の銅器・青銅器」『中国考古学』4, pp. 49-78
- 澤田多喜男「『左氏伝』所見『詩』『書』攷—経学前史」『東洋古典学研究』18, pp. 1-22
- 澤田多喜男「郭点本『老子』攷（二）」『東洋古典学研究』17, pp. 1-34
- 三国時代出土文字資料の研究班「江陵張家山漢墓出土「二年律令」譯注稿 その（1）」『東方学報（京都）』76, pp. 109-208
- 塩沢裕仁「漢魏の都城“許昌”」『法政史学』62, pp. 1-40
- 篠原幸夫「『詩経』徳字考—國風・小雅を中心として—」『二松学舎大学論集』47, pp. 173-196
- 渋谷由紀「郭店楚簡《五行》考 修養論を中心に」『中国古典研究』49, pp. 9-27
- 渋谷由紀「「性」と「心」—《性命出》の分析を通じて—」『中国出土資料研究』8, pp. 1-22
- 下田誠「戦国韓国の権力構造 政権上層部の構成を中心に」『史海』51, pp. 1-13
- 下田誠「鄭韓故城出土銅兵器の基礎的考察」『人文科学論集（学習院大）』13, pp. 73-104
- 車廣錦「孫曉崗記」『兪偉超先生を偲ぶ』『博古研究』27, pp. 31-32
- 朱岩石（佐川正敏訳）「中国河北省鄴城遺跡 北朝仏教寺院の巨大な塔基壇」『考古学研究』51-1, pp. 110-114
- 徐天進「周原遺址最近的发掘收获及相关问题」『中国考古学』4, pp. 212-218
- 白石典之「チンギス＝カンの墓はどこか？」『龍谷史壇』121, pp. 1-19
- 白須浄眞「第一次大谷探検隊員・堀賢雄資料調査報告（1）—1902年8月15日、探検出発前日までの資料群—」『東洋史苑』63, pp. 1-31
- 森威史・角南聡一郎「日台考古学間交流の現状：近年の両国間研究交流と日本における台湾考古学文献目録」『台湾原住民研究』8, pp. 204-217
- 辛賢「荀爽の延熹対策について」『待兼山論叢（哲学篇）』38, pp. 7-14
- 秦小麗「二里頭時代の中原東部地区—土器動態から見た地域間関係とその背景—」『中国考古学』4, pp. 1-28
- 信立祥（井之口茂訳）「一座の命と知恵で造られた学問巧績の碑—兪偉超先生の学問的業績総覧—」『博古研究』27, pp. 12-22
- 信立祥（孫曉麗訳）「一位雲水胸襟の導師—兪偉超先生の思い出—」『博古研究』27, pp. 26-28
- 秦兆雄「宗族の規範と個人の選択 中国湖北省農村の招贅婚の事例から」『民族学研究』68-4, pp. 511-534
- 菅谷文則「兪偉超先生追慕の記」『博古研究』27, pp. 33-34
- 杉村伸二「漢初人事考 漢初の国制と人事の諸相」『史泉』99, pp. 40-61
- 杉村伸二「景帝中五年王国改革と国政再編」『古代文化』56-10, pp. 27-40
- 鈴木敦「甲骨文字における基礎文字群の設定」『中国考古学』4, pp. 125-140
- 鈴木直美「後漢画像にみる六博 - 神との交流から不老長寿の遊戯へ - 」『日本秦漢史学会会報』5, pp. 35 - 65
- 鈴木靖民「古瀬奈津子著『遣唐使の見た中国』」『唐代史研究』7, pp. 222-225
- 好並隆司「楽戸をめぐる」『紀要（別府大・院）』6, pp. 1-15
- 關尾史郎「トゥルファン将来「五胡」時代契約文書簡介」『西北出土文献研究』創刊号, pp. 71-90
- 關尾史郎「遼寧出土、「五胡」時代墓記考釈—「東晋永昌三年正月李廙墓記」ならびに「後燕建興十年崔暹墓記」をめぐる—」『環日本海研究年報』11, pp. 39-44
- 薛翹・劉勁峰（石崎泰之）「贛州窯黒釉茶器について」『研究紀要（野村美術館）』13, pp. 12-15
- 妹尾達彦「池田温著『唐研究論文選集』」『唐代史研究』7, pp. 204-213
- 泉屋博古館古代青銅鏡放射光蛍光分析研究会「SPring-8を利用した古代青銅鏡の放射光蛍光分析」『泉屋博古館紀要』20, pp. 1-35
- 専修大学『二年律令』研究会「張家山漢簡『二年律令』訳注（3）具律」『専修史学』37, pp. 123-181
- 先坊幸子「六朝志怪説話の謎の部分」『国語国文論集』34, pp. 49-60
- 膳智之「『呂氏春秋』にみる農業経営規模について」『専修史学』36, pp. 77-103
- 早田啓子「中央アジアとその周辺の仏教文化Ⅲ」『學苑（昭和女子大）』762, pp. 113-122
- ソーハン・ゲレルト格日勒図「モンゴル王権の基礎的研究『モンゴル秘史』所伝族祖神話の分析を中心に」『早稲田大学大学院文学研究科紀要』49-4, pp. 100-104
- 蘇航「唐朝北部辺軍における蕃・漢将の地位について—開玄後期から天宝末期までを中心に—」『歴史研究』41, pp. 63-92
- 蘇哲「兪先生の思い出」『博古研究』27, pp. 28-29
- 孫華（小柳美樹訳）「中国初期中央王朝の形成と発展—中原青銅文化伝統の形成原因からの考察—」『国立歴史民俗博物館研究報告』119, pp. 365-379
- 孫杰生「試論唐通事與唐話の伝播在中日交流史上的価値」『創大中国論集』7, pp. 97-118
- 戴俊英「中国魏晋南北朝における華南墳墓の類型的分析」『岡山大学大学院文化科学研究科紀要』17, pp. 223-256
- 大坊眞伸「『禮記子本疏義』と『禮記正義』との比較研究」『大東文化大学漢学会誌』43, pp. 79-110
- 高木智見「郭店楚簡研究會編『楚地出土資料と中国古代文化』」『中国出土資料研究』8, pp. 221-230

- 高田時雄「榮新江著『中古中国與外来文明』『東洋史研究』63-1, pp. 111-118
- 高橋学「南北朝時代、四川地域における諸反乱と仏教受容」『三康文化研究所年報』35, pp. 161-191
- 多田狷介「1993年秋の河西回廊(紹介)明駝著『河西見聞記』『日本女子大学紀要(文学部)』53, pp. 35-55
- 館野正美「老子の<道>と中国古代の医学思想 中国伝統医学の思想的背景」『研究紀要(日本大学文理学部人文科学研究所)』68, pp. 31-45
- 田中稔「史記「鴻門の会」再考」『東洋文化(無窮会)』復刊92, pp. 2-17
- 田辺昭三「俞偉超先生の死を悼む」『博古研究』27, pp. 24-25
- 谷川英則「『三国志』魏書・武帝紀における『尚書』『毛詩』の引用について」『香川大学国文研究』28, pp. 64-70
- 谷川道雄「六朝貴族の家政について」『東洋史苑』63, pp. 1-25
- 谷豊信「俞偉超先生の思い出」『博古研究』27, pp. 34-35
- 田沼真弓「北齊・北周・隋皇帝の喪礼の変遷」『國學院大學栃木短期大學紀要』38, pp. 33-68
- 田畑久夫「槃瓠神話の変化」『アジア遊学』67, pp. 72-81
- 俵寛司「ベトナム社会主義共和国ドンソン遺跡と漢代の遺跡」『考古学研究』50-4, pp. 31-33
- 趙輝「中原を中心とした歴史趨勢の形成」『国立歴史民俗博物館研究報告』119, pp. 183-194
- 趙志軍・難波純子「中国初期農耕の起源 稲作農業の起源と拡散」『古代文化』56, pp. 45-52
- 張娜麗「西域発見の文字資料(4)『大谷文書集成』参読後笥記」『學苑(昭和女子大)』764, pp. 11-34
- 張莉「中国古代における「味覚」「嗅覚」「触覚」に関する文字の考察」『人間・環境学』13, pp. 117-133
- 陳洪「関中地域における秦墓出土青銅器・土器編年の再検討」『九州大学21世紀COEプログラム(人文科学)東アジアと日本:交流と変容』創刊号, pp. 25-52
- 陳翀「白居易と廬山文化 江州左遷時代における東・西寺詩を中心に」『九州中国学会報』42, pp. 33-49
- 陳星燦「黄河流域における農耕の起源:現象と仮説」『国立歴史民俗博物館研究報告』119, pp. 53-56
- 塚本信也「先秦期における「笑」の語用語」『集刊東洋学』92, pp. 1-20
- 津田資久「漢魏交替期における『皇覽』の編纂」『東方学』108, pp. 55-68
- 土屋昌明「宮中の道教と妓女と詩人」『アジア遊学』60, pp. 42-50
- 土屋昌明「都市空間と道観と別荘」『アジア遊学』60, pp. 96-108
- 辛賢「後漢易学の終章 鄭玄易学を中心に」『東方学』107, pp. 20-34
- 鶴田一雄「敦煌出土の書籍に関する一考察」『西北出土文献研究』創刊号, pp. 91-96
- 丁金龍「江蘇省昆山市綽墩遺跡発掘調査概要」『21COE 考古学シリーズ2 國學院大學21世紀COEプログラム2002・2003年度考古学調査研究報告 東アジアにおける新石器文化と日本I』國學院大學21COE第Iグループ考古学班, pp. 263-270
- 東京大学馬王堆帛書研究會「『馬王堆漢墓出土帛書周易』二三子問篇譯注(4)」『中国出土資料研究』8, pp. 138-168
- 陶徳民「内藤湖南における『支那論』の成立 民國初期の熊希齡内閣との関連について」『東方学』108, pp. 84-104
- 唐際根「涇北商城的发现及其对商代考古研究的影响」『中国考古学』4, pp. 204-211
- 徳留大輔「中国新石器時代晋南豫西地域の土器からみた地域間交流-廟底溝二期文化の成立過程と展開-」『亞州考古学』2, pp. 35-70
- 徳留大輔「二里頭文化二里頭類型の地域間交流-初期王朝形成過程の諸問題から-」『中国考古学』4, pp. 79-110
- 徳留大輔「動向・文化(考古・文物)」『中国年鑑2004』創土社, pp. 221-223
- 徳永洋介「耶律鑄夫婦墓誌銘 録文と訓読」『13、14世紀東アジア史料通信』1, pp. 1-7
- 戸高留美子「『三都賦』小考-都城賦制作意義の変容とその背景について-」『お茶の水女子大学中国文学会報』23, pp. 17-30
- 富谷至「二年律令に見える法律用語-その(一)-」『東方学報(京都)』76, pp. 221-255
- 外村中「古代中国の都市と園林についての初歩的考察」『仏教芸術』272, pp. 13-33
- 友永植「宋都監探原考(三)五代の州郡都監」『史学論叢(別府大・史学研究会)』34, pp. 15-25
- 内藤みどり「突厥・ソグド人の東ローマの交流と狼伝説」『史観』150, pp. 29-50
- 中生勝美「洪洞県伝説」『アジア遊学』67, pp. 42-51
- 中尾一成「陳子昂 垂供二年出征考(4) 同城、安北都濶府、居延海、居延古城」『千里山文学論集』71, pp. 224-242
- 中尾健一郎「杜甫献賦考」『九州中国学会報』42, pp. 16-32
- 中川あや「唐鏡の変遷 盛唐期以降を中心に」『考古学雑誌』88-1, pp. 33-68
- 中川穂花「中国における四神図像-漢代から唐代にかけての壁画墓の図録-」『亞州考古学』2, pp. 71-86
- 中島敏夫「歴史と神話への視座-擬古派禹天神論の検証からの再出発-(下の一)」『中国21』18, pp. 227-256
- 中島敏夫「歴史と神話への視座-擬古派禹天神論の検証からの再出発-(下の二)」『中国21』20, pp. 227-250
- 永田英正「簡牘研究事始の記」『日本秦漢史学会会報』5, pp. 214-222
- 中村圭爾「安田二郎著『六朝政治史の研究』」『集刊東洋学』91, pp. 97-104
- 中村慎一「中国における都市の生成」『国立歴史民俗博物館研究報告』119, pp. 195-210
- 中村慎一「書評『河姆渡-新石器時代遺址考古発掘報告』」『日本考古学』17, pp. 111-116
- 中村慎一「良渚文化石器の分類」『金沢大学考古学紀要』27, pp. 131-137
- 中村威也「Dx10698「尚書費誓」とDx10698v「史書」について-P.3871 隸古定尚書・励忠節抄との掇合をめぐって-」『西北出土文献研究』創刊号, pp. 40-56
- 仲山茂・佐藤直人「銀雀山漢簡『守江守令等十三篇』訳註(2)」『東洋史研究報告(名古屋大)』28, pp. 79-107
- 夏炎「隋唐世家大族政治社会地位変遷研究」『唐代史研究』7, pp. 154-176
- 難波純子「商末周初の青銅器編年試案-C字形耳・角饕餮紋の時期区分-」『中国考古学』4, pp. 111-124

- 西奥健志「宋代の草の単位「束」と「捆」について」『仏教大学大学院紀要』32, pp.131-136
- 西谷大「国家成立と周辺地域における自然利用の変容—アーキエスノロジー的方法論による一考察—」『国立歴史民俗博物館研究報告』119, pp.211-230
- 新田幸治・藤井倫明「春秋繁露註釋稿(26)」『東洋大学大学院紀要』40, pp.149-160
- 額田政男「山内晋次著『奈良平安期の日本とアジア』」『歴史科学』178, pp.59-62
- 野間文史「読五経正義札記(八)—『景鈔正宗寺本春秋正義』について—」『東洋古典学研究』17, pp.159-174
- 野沢佳美「宋元時代における湖州妙嚴寺の出版活動」『東洋史論集(立正大)』16, pp.1-14
- 野田俊昭「東晋時代における孝と行政」『九州大学東洋史論集』32, pp.40-65
- 量博満「文明への道—中国への道—」『国立歴史民俗博物館研究報告』119, pp.345-348
- 橋本高勝「甲骨卜辞の未来「情報」について」『文芸論叢』62, pp.48-64
- 葉峻榮「定州漢墓簡本《論語》與傳世《論語》異文研究」『中国出土資料研究』8, pp.22-38
- 長谷川順二「前漢期黄河故河道の復元—衛星画像と文献資料の活用・濮陽を例に—」『学習院史学』42, pp.197-212
- 畠山薫「趙岐『孟子章句』の成立とその背景」『集刊東洋学』92, pp.58-77
- 張弛(小柳美樹訳)「中国史前農業・経済の発展と文明の起源—黄河、長江中・下流域を核として—」『国立歴史民俗博物館研究報告』119, pp.57-78
- パトリシア・イーブリー「徽宗朝の秘書省と文化財コレクション」『アジア遊学』64, pp.13-33
- 花房卓爾「春秋時代の齊・呉・越における亡命の受諾」『広島大学留学生センター紀要』14, pp.29-46
- 浜川栄「徒民70万人と黄土高原—前漢・武帝期における黄土高原の環境と開発—」『東洋文化研究(学習院大)』6, pp.31-60
- 濱住真有「中国山水画受容の様相—池大雅筆「白雲紅樹図」をめぐって—」『美術史』156, pp.394-412
- 林謙一郎「大理国史研究の視角」『研究論集(名大・文)』149, pp.1-20
- 林巳奈夫「中国古代の太陽紋の徳の図像」『泉屋博古館紀要』20, pp.1-40
- 速水大「唐代勳官制度研究の現状と課題」『駿台史学』121, pp.21-46
- 春成秀爾「日本の青銅器文化と東アジア」『国立歴史民俗博物館研究報告』119, pp.31-49
- 樊光春(石田志穂訳)「唐代長安の道観」『アジア遊学』60, pp.31-41
- 東野治之「池田温著『東アジアの文化交流史』」『史学雑誌』113-8, pp.90-93
- 肥田路美「四川省蒲江飛仙閣摩崖の初唐造像の性格について—二つの触地印宝冠如来像龕を中心に—」『早稲田大学大学院文学研究科紀要』49-3, pp.125-141
- 平井進「中国の古代神話の東北起源について」『古代文化を考える』45, pp.1-55
- 平井進「朝鮮と倭の中国東北地方の起源について」『古代文化を考える』45, pp.56-127
- 平井進「『水経注』の遼水と碣石」『古代文化を考える』46, pp.1-27
- 平田陽一郎「突厥他鉢可汗の即位と高紹義亡命政權」『東洋学報』86-2, pp.1-34
- 広中智之「ヨートカン出土の馬と駱駝に騎乗するサルテコラッタをめぐって」『シルクロード研究』4, pp.39-62
- 深津胤房「古代中国人の思想と生活—「倫理」と「倫常」について—」『二松学舎大学東洋学研究所集刊』34, pp.79-106
- 福田一也「帛書系『老子』の成立事情—荘子後学との関係を中心に—」『中国研究集刊』35, pp.1-24
- 福田美穂「元大都の皇城に見る「モンゴル」的要素の発現」『仏教芸術』272, pp.34-67
- 福本郁子「『詩経』に於ける境界神祭祀詩に就いて」『二松学舎大学人文論叢』72, pp.119-139
- 福本郁子「中国古代に於ける境界神祭祀詩に就いて」『二松学舎大学論集』47, pp.147-172
- 藤島志麻「周代社会におけるイヌの役割—中国古代のイヌの社会的意義(1)—」『風俗史学』28, pp.48-69
- 藤田勝久「『史記』の歴史観と叙述」『愛媛大学法文学部論集(人文学科篇)』17, pp.53-80
- 藤田忠「後漢・明帝の治世策について—光武十王列伝を中心にして—」『集刊東洋学』92, pp.40-57
- 藤田尚代「『續紅樓夢』考—その「先行作品」との関係及び作風について—」『仏教大学大学院紀要』32, pp.115-128
- 藤田高夫「地下からの贈り物—簡牘資料の価値と研究状況—第8回漢代辺境の行政文書(敦煌漢簡・馬圈湾漢簡・懸泉漢簡・懸泉月令詔條)」『東方』282, pp.8-12
- 船田善之「杉山正明著『モンゴル帝国と大元ウルス』」『史学雑誌』113-11, pp.100-109
- 保科季子「漢代の女性秩序—命婦制度淵源考—」『東方学』108, pp.22-34
- ボリス I. マルシャク「MIHO MUSEUMの棺床屏風と6世紀後半の中国・ソグド芸術」『MIHO MUSEUM 研究紀要』4, pp.32-57
- 牧角(竹下)悦子「『詩経』の中のエロ—桃の夭々たる—」『二松学舎大学東洋学研究所集刊』34, pp.107-118
- 槇林啓介「中国新石器時代磨盤・臼などの分類と地域性—黄河・長江流域を中心にして—」『考古論集(河瀬正利先生退官記念論文集)』河瀬正利先生退官記念事業会編, pp.987-1002
- 間嶋潤一「鄭玄の「豳の三體」の解釈(上)—「周禮」「春官・籥章」注と『詩』「豳風・七月」箋—」『香川大学国文研究』28, pp.71-79
- 町田隆吉「唐咸亨四(六七三)年左憧熹生前功德及隨身錢物疏」をめぐって—左憧熹研究覚書(一)—」『西北出土文献研究』創刊号, pp.57-70
- 松井太「モンゴル時代の度量衡—東トルキスタン出土文献からの再検討—」『東方学』107, pp.153-166
- 松井嘉徳「呉虎鼎銘考釈—西周後期、宣王朝の実像を求めて—」『史窓』61, pp.75-98
- 松浦有一郎「中国東北部の新石器時代玉文化」『季刊考古学』89, pp.92-94
- 松川節「チベット自治区博物館蔵五言語合璧『如来大寶法王建普度齋長卷画』(1407年)のモンゴル語テキストについて」『大谷学報』82-4, pp.1-17
- 松崎哲「珊瑚の道」『考古論集(河瀬正利先生退官記念論文集)』河瀬正利先生退官記念事業会編, pp.1101-1110

- 松澤博「敦煌出土西夏語佛教研究序説(3)ーペリオ将来『佛説天地八陽神呪經』の西夏語訳断片についてー」『東洋史苑』63, pp. 49-75
- 松下憲一「北魏の国号「大代」と「大魏」」『史学雑誌』113-6, pp. 72-100
- 松下憲一「田餘慶著『拓跋史探』」『東洋学報』86-1, pp. 97-104
- 松原朗「長安の杜甫」『アジア遊学』60, pp. 60-68
- 松丸道雄「河南鹿邑県長子口墓をめぐる諸問題ー古文献と考古学との邂逅ー」『中国考古学』4, pp. 219-240
- 松本浩一「徽宗と道教政策」『アジア遊学』64, pp. 110-118
- 松本浩一「宋代を中心としてみた都市の祠廟の変遷」『都市文化研究』4, pp. 127-142
- 三木聰「九卿・科道会議は何処で開かれたのか 万曆封倭考補遺」『史冊(北海道大)』37, pp. 40-47
- 三木聰「万曆封倭考(その2) 万曆二十四年五月の九卿・科道会議をめぐる」『北海道大学文学研究科紀要』113, pp. 1-49
- 水間大輔「秦律・漢律における殺人罪と身分関係」『史滴』26, pp. 18-35
- 水間大輔「秦律・漢律における傷害罪の類型 張家山漢簡「二年律令」を中心に」『中国史研究』28, pp. 1-36
- 水間大輔「秦律・漢律における未遂・豫備・陰謀罪の処罰ー張家山漢簡「二年律令」を中心にー」『史学雑誌』113-1, pp. 1-39
- MIHO MUSEUM「中国の中央アジアーシルクロード東端の発見」『MIHO MUSEUM 研究紀要』4, pp. 69-123
- 三宅俊彦「中国窖藏銭の諸問題ー宋・元・明を中心として」『考古学雑誌』88-3, pp. 42-71
- 三宅俊彦「渡来銭をめぐる若干の問題」『博古研究』28, pp. 23-28
- 宮崎聖明「元豊官制改革の施行過程について」『史冊(北海道大)』37, pp. 20-39
- 宮宅潔「張家山漢簡《二年律令》解題」『東方学報(京都)』76, pp. 209-220
- 宮永廣美「石井正敏『東アジア世界の古代と日本』」『中央学』27, pp. 156-157
- 宮本一夫「中国大陸からの視点」『季刊考古学』88, pp. 78-83
- 宮本一夫「総論ー東アジアの土器の出現ー」『考古学ジャーナル』519, pp. 2-3
- 宮本一夫「中国の戦国・漢代の甕棺墓と朝鮮半島の甕棺墓」『考古論集(河瀬正利先生退官記念論文集)』 河瀬正利先生退官記念事業会編, pp. 1003-1018
- 宮本一夫「接触地帯にみられる地域性と集団関係ー内蒙古中南部新石器時代の事例からー」『文化の多様性と比較考古学』考古学研究会, pp. 19-28
- 向井佑介「中国北朝における瓦生産の展開」『史林』87-5, pp. 1-40
- 村上陽子「中国史における糧食としての「芋」利用ー食生活史の視点からー」『上智史学』49, pp. 35-68
- 村松哲文「會津八一コレクション「十二支獸神俑」について 獸頭獸身像から獸頭人身像への変容」『研究紀要(會津八一記念博)』5, pp. 1-15
- 毛利英介「1074 から 76 におけるキタイ(遼)・宋間の地界交渉発生の原因について 特にキタイ側の視点から」『東洋史研究』62-4, pp. 1-31
- 茂木雅博「班村学校で学んだことー兪偉超先生の教えー」『博古研究』27, pp. 38-40
- 初山明「『漢書』刑法志の錯誤と唐代文献」『会報(法史学研究会)』9, pp. 89-92
- 森田憲司「元代類書における『文公家禮』の引用 至元八年婚姻礼制所引を中心に」『奈良史学』22, pp. 7-17
- 森田健太郎「宋朝四海信仰の実像 祠廟政策を通して」『早稲田大学大学院文学研究科紀要』49-4, pp. 67-79
- 森野繁夫「六朝の文人たちー南斉・謝朓ー」『国語国文論集』34, pp. 41-48
- 森部豊「8~10世紀の華北における民族移動ー突厥・ソグド・沙陀を事例としてー」『唐代史研究』7, pp. 78-100
- 森部豊「唐末五代の代北におけるソグド系突厥と沙陀」『東洋史研究』62-4, pp. 60-93
- 森谷一樹「張家山漢簡・秩律初探」『洛北史学』6, pp. 22-50
- 森和「子彈庫楚帛書三篇の關係からみた資料的性格について」『史滴』26, pp. 2-16
- 安田喜憲「森に誕生した長江文明ーもうひとつの古代文明の行方を追って」『Front』16, pp. 16-19
- 矢田尚子「楚辭「離騷」における「上下」と「求索」」『集刊東洋学』91, pp. 1-20
- 柳田康雄「日本・朝鮮半島の中国式銅劍と実年代論」『研究論集(九州歴史資料館)』29, pp. 1-48
- 柳昌煥「古代東アジア初期馬具の展開」『福岡大学考古学論集-小田富士雄先生退職記念-』小田富士雄先生退職記念事業会編, pp. 283-296
- 山内晋次「10~13世紀の東アジアにおける海域交流」『唐代史研究』7, pp. 101-115
- 山崎覺士「五代の道制ー後唐朝を中心としてー」『東洋学報』85-4, pp. 65-98
- 山下将司「新出土史料より見た北朝末・唐初間ソグド人の存在形態ー固原出土史氏墓誌を中心にー」『唐代史研究』7, pp. 60-77
- 山田崇仁「『孟子』の成書時期についてーN-g r a m と統計的手法を利用した分析ー」『立命館東洋史学』27, pp. 1-32
- 山田英雄「陶淵明研究論文目録稿(中国、2000-2002)」『教養論叢(中京大)』45-2, pp. 167-186
- 山根泰志「左氏述作 春秋学」『立命館文学』587, pp. 44-56
- 山根幸夫「明代の会典」『明代史研究』32, pp. 25-38
- 山邊進「『禮記』昏義篇に関する一考察ー漢代禮学に於ける婚姻儀禮の論理化ー」『二松学舎大学人文論叢』73, pp. 74-93
- 山邊進「『論語』に於ける引『詩』に就いて」『二松学舎大学論集』47, pp. 197-224
- 山本英史「中国歴史文献収蔵機関情報 北京・江南・台湾」『史学』73-1, pp. 69-100
- 山本正昭「泉州窯系磁器から見た琉明関係 消費地からの視点」『貿易陶磁研究』24, pp. 177-210
- 兪偉超(井之口茂訳)「日本古墳の起源は中国魏晉墓制ではない」『博古研究』27, pp. 1-11
- 楊海英「「祈祷用ヒツジのトイ書」について」『内陸アジア史研究』19, pp. 65-82

- 楊海英「モンゴルにおける王朝交代観に関する一資料―「遠太子と真太子の物語」を中心に―」『人文論集(静岡大)』54-2, pp. 23-65
- 横田禎昭「黄河文明と中国文明」『考古論集(河瀬正利先生退官記念論文集)』河瀬正利先生退官記念事業会編, pp. 1029-1042
- 横手裕「禅と道教 柳華陽の場合」『思想』960, pp. 87-106
- 吉開将人「近代中国における文物事業の展開―制度的変遷を中心に」『歴史学研究』789, pp. 52-62
- 吉田恵二「宣化遼墓に描かれた文房具」『国学院大学考古学資料館紀要』20, pp. 65-84
- 吉富透「石川三左男著『楚辭新研究』」『中国出土資料研究』8, pp. 231-251
- 吉野健一「兪偉超先生の思い出」『博古研究』27, pp. 36-37
- 吉本道雅「西周紀年考」『立命館文学』586, pp. 57-108
- 葎森健介「安田二郎著『六朝政治史の研究』」『東洋史研究』62-4, pp. 129-139
- 礼記注疏研究班「礼記注疏檀弓篇訳注(17)」『中国学志』臨号, pp. 43-63
- 樂豊実(濱名弘二訳)「海岱地区先史農業の生成、発展及び関連する諸問題」『九州大学21世紀COEプログラム(人文科学)東アジアと日本:交流と変容』創刊号, pp. 11-24
- 李家樹・黄靈庚「宋詩茶酒文化語詞例積」『中国古典研究』49, pp. 1-16
- 李健超(山田智訳)「唐代の長安」『アジア遊学』60, pp. 5-18
- 李浩(石村貴博訳)「長安の別荘と詩歌活動」『アジア遊学』60, pp. 83-95
- 李芳民(阿純章訳)「唐代長安の仏寺に遊ぶ 紅葉の寺遊 詩興多し」『アジア遊学』60, pp. 19-30
- 里耶秦簡講讀會「里耶秦簡譯註」『中国出土資料研究』8, pp. 88-137
- 劉慶柱「古代中国秦漢時代の帝王陵と陪葬坑の考古研究」『王の墓と奉仕する人びと 歴博フォーラム』山川出版社, pp.
- 劉恒武「中国太湖周辺地域の新石器時代の自然環境をめぐる諸問題」『仏教大学大学院紀要』32, pp. 43-56
- 李梁「道とロゴス 古代中国とギリシアにおける科学と医学を読む」『人文社会論叢(人文科学)〈弘前大〉』11, pp. 41-49
- 早稲田大学簡帛研究會「銀雀山漢簡『守江守令等十三篇』の研究(3)王兵篇・市法篇・李法篇」『中国出土資料研究』8, pp. 169-220
- 渡辺健哉「元大都形成過程における至元20年9月令の意義」『集刊東洋学』91, pp. 77-96
- 渡邊英幸「晋文公の諸遍歴説話とその背景」『東洋学報』85-4, pp. 1-31
- 渡邊義浩「魏公卿上尊号奏」にみる漢魏革命の正当性『大東文化大学漢学会誌』43, pp. 55-78
- 和田和子「起源と痕跡―「聖人」と『莊子』の「道」について―」『お茶の水女子大学中国文学会報』23, pp. 1-16